

氏名	梶 山 晃 雄
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3675号
学位授与の日付	平成14年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Relation of QT-Interval Variability to Ventricular Arrhythmias During Percutaneous Transluminal Coronary Angioplasty (経皮的冠動脈形成術時のQT間隔と心室性期外収縮の関係)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 梶谷 文彦 教授 佐野 俊二

学位論文内容の要旨

心室筋の再分極過程のばらつきの程度と心室性不整脈との関係は以前から報告されている。安定狭心症患者の PTCA による不整脈と心室の再分極過程の関係を検討するため、再分極の指標として PTCA 前、中、後に標準 12 誘導心電図を記録し、QTc、QTac を測定した。ばらつきの指標として Δ QTc、QTcSD、 Δ QTac を用いた。対象を不整脈 (+) 群と (-) 群に分け以下の結果を得た。

- 1) PTCA 中には 12 誘導の平均 QT 間隔には両群ともに変化はなかった。
- 2) PTCA により、不整脈 (+) 群で Δ QTc、QTcSD は増大し、不整脈 (-) 群では縮小していた。
- 3) PTCA により、不整脈 (+) 群で Δ QTac は縮小していたが、不整脈 (-) 群では変化しなかった。

以上より Δ QTc、QTcSD は PTCA 誘発性心室性不整脈の有効な指標となると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、経皮的冠動脈形成術時に発生する不整脈と心室筋再分極過程の異常との関連を検討したものであるが、従来十分確立されていなかった経皮的冠動脈形成術時に発生する不整脈の機序に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。